

ポーランド政治クロノロジー(2010年7月)

月	内政	外交・軍事
7月	<p>4日 大統領選挙決選投票。</p> <p>5日 国家選挙管理委員会、大統領選挙決選投票結果発表。コモロフスキ大統領代行(市民プラットフォーム)53.01%、カチンスキ「法と正義」党首46.99%(投票率55.31%)。</p> <p>5日 大統領府幹部5名が辞表を提出。</p> <p>7日 コモロフスキ大統領代行の推薦により、ルフト下院報道官及びドヴォラク元ポーランドテレビ局会長が新国家ラジオ・テレビ評議会メンバーに選出。</p> <p>8日 コモロフスキ大統領代行、議員職及び下院議長を辞任。下院議長が選出されるまでの間、ボルセヴィチ上院議長が大統領代行に就任。</p> <p>8日 下院本会議において、スヘティナ新下院議長(市民プラットフォーム)及びヴェンデルリフ副下院議長(民主左翼連合)を選出。「法と正義」に割り当てられたもう一つの副下院議長ポストの指名は見送られた。</p> <p>11日 ミハウォフスキ大統領府長官代行、大統領府長官に就任。</p> <p>12日 スヘティナ大統領代行(下院議長)、ソコウォフスキ下院議長室長を大統領府國務次官(外交政策担当)に任命。</p> <p>12日 カチンスキ「法と正義」党首、新聞紙上で、大統領政府専用機墜落事故後のシコルスキ外相との電話の内容を明かし、市民プラットフォーム政権を批判。</p> <p>17日 Euro Pride パレード開催(於:ワルシャワ)。</p> <p>20日 「法と正義」の提案によりスモレンスクの政府専用機墜落事故調査を実施する議員調査チーム発足(マチエレヴィチ議員を長とする)。</p> <p>20日 大統領官邸前に設置されたカチンスキ前大統領夫妻等、大統領機墜落事故犠牲者を追悼する十字架は、聖アンナ教会に移設されるこ</p>	<p>2日 民主主義共同体ハイレベル会合開催(-4日、於:クラクフ)。</p> <p>3日 シコルスキ外相とクリントン米國務長官、共同声明発表。ナイデル外務次官とファインシュタイン駐ポーランド米国大使、米ミサイル防衛システムのポーランド配備に関する協定の修正議定書に署名。</p> <p>5日 コモロフスキ大統領代行、ファン＝ロンパイ欧州理事会議長及びバローゾ欧州委員会委員長、オバマ米大統領、メドヴェージェフ露大統領、ヴルフ独大統領、クラウス・チェコ大統領等と電話会談。</p> <p>5日 ラムス・ブルンスム統合軍司令官、ポーランド軍作戦軍司令部訪問。</p> <p>6日 ノヴェク国家安全保障局副長官及びヴァチシコフスキ国家安全保障局副長官、辞表を提出。</p> <p>8日 ドンブロウスキス・ラトヴィア首相、ポーランド訪問。</p> <p>8日 欧州担当大臣・國務大臣非公式会合(於:ブリュッセル)。</p> <p>8日 クリフ国防相、下院国防委員会で、第8次及び第9次ポーランド軍アフガニスタン派遣部隊は2600名を維持する旨発言。</p> <p>8日 クリフ国防相、ヴェニェク中将(NATO及びEU軍事委員会ポーランド代表)をNATO変革連合軍副司令官に任命した旨発表。</p> <p>9日 トゥスク首相、クロアチア政府による「クロアチア・サミット会議」に参加(-10日、於:ドブロヴニク)。</p> <p>12日 シコルスキ外相、グルジア及びアルメニア訪問(-15日)。</p> <p>13日 ヴルフ独大統領、ポーランド訪問。</p> <p>13日 グルシュカ・ポーランド軍作戦軍司令官、アフガニスタン訪問。</p> <p>15日 ドヴギェレヴィチ欧州担当閣外相、ルーマニア訪問(-16日)。</p> <p>15日 グレンヴァルト古戦場にて、戦勝600周年記念式典開催。コモロフスキ次期大統領、リトアニア及びルーマニア大統領、モルドバ大統領代行、ブゼク</p>

<p>とで合意。</p> <p>21 日 リポヴィチ元駐オーストリア大使,人権擁護官に就任(故コハノフスキ人権擁護官の後任)。</p> <p>22日 「市民プラットフォーム」党内会合にて,トムチキエヴィッチ議員が院内総務に選出される。</p> <p>22 日 国家ラジオ・テレビ評議会メンバー(上院枠)にパストゥシカ上院議員(農民党)を選出。</p> <p>23 日 政府専用機墜落事故に関する議員調査チームの会合初開催。</p> <p>24 日 「法と正義」党内会合にて,リピンスキ議員,ジョプロ欧州議員,シドゥオ議員らが副党首に就任。</p> <p>27 日 「法と正義」,今秋予定の地方選において16 県でそれぞれ異なるプログラム作成を準備している旨報道。</p> <p>27日 民主左翼連合,今秋予定の地方選候補リストを9月1日に発表する旨報道。</p> <p>28 日 カチンスキ「法と正義」党首,2007 年4月に自殺したブリダ民主左翼連合議員の調査委に参考人として喚問。本件における自身の関与を否定。</p> <p>30 日 閣僚会議にて財政改革につき議論。トゥスク首相,付加価値税(VAT)を今後3 年間,現在の22%から23%に引き上げる計画を発表。</p>	<p>欧州議会議長,スヘティナ下院議長,クリフ国防相,チェニユフ参謀総長等が出席。</p> <p>16 日 シコルスキ外相, OSCE 非公式外相会談に出席(-17 日,於:カザフスタン)。</p> <p>17 日 シコルスキ外相,アフガニスタン訪問(-20 日)。</p> <p>18 日 クフィアトコフスキ法相,ロシア訪問(-19 日,於:サンクトペテルブルク)。</p> <p>19 日 スヘティナ下院議長,ブゼク欧州議会議長と会談。</p> <p>20 日 トゥスク首相,ヴィシェグラード・グループ首展会合に出席(於:ブダペスト)。</p> <p>20 日 シコルスキ外相,カブール国際会議に出席(於:アフガニスタン)。</p> <p>22 日 アフガニスタン派遣部隊報道官,10 名の反政府武装組織員を拘束し,IED の製造所を制圧したと発表。</p> <p>23 日 シコルスキ外相,露カリーニングラード州訪問。</p> <p>23 日 ラディチョヴァー・スロヴァキア首相,ポーランド訪問。</p> <p>26 日 シコルスキ外相,EU外務理事会・総務理事会に出席。</p> <p>26 日 セレメト検事総長,墜落した政府専用機のボイス・レコーダーから新たに数十語の音声の聞き取りに成功した旨発表。</p> <p>26 日 最高監査院(NIK)は政府専用機の墜落事故の独自調査を開始すると発表。</p> <p>26 日 シコルスキ外相,「ウィキリークス」に米軍文書(ポーランド軍関連文書も含む)が公開されたことを批判。</p> <p>28 日 サヴィツキ農相,スミス・アイルランド農相と会談(於:ワルシャワ)。</p> <p>29 日 サヴィツキ農相,ファゼカシュ・ハンガリー農相と会談(於:ワルシャワ)。</p> <p>29 日 グラバルチク・インフラ相,ラムザウアー独インフラ相と会談。</p> <p>30 日 ザヴァトカ特殊部隊 GROM 指揮官辞表提出。</p>
--	---